

緩やかな回復が続くものの、先行きは 不透明

ア
ナ
リ
ス
ト
レ
ポ
ー
ト

県内景気
天気図

現在の景気



生産活動



個人消費



民間設備投資



住宅投資



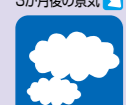
公共投資



雇用情勢



3か月後の景気



凡例

- 晴れ
- 晴れ一時曇り
- 曇り
- 曇り一時雨
- 雨

前月比

- 上昇・好転
- 横ばい
- 下降・悪化



賤ヶ岳より／長浜市

県内景気の動向

現状 住宅投資などの一部で駆け込み需要の反動減という動きが出ているものの、製造業の生産活動が堅調に推移し、ほとんどの需要面で3月まで活発な駆け込み購入がみられるため、全体的には緩やかな回復が持続していると考えられる。

県内製造業の生産活動の現状を鉱工業生産指数でみると、引き続き窯業・土石は低水準で、はん用・生産用・業務用機械と繊維は低下したものの、金属製品や電気機械、輸送機械、化学などは高水準となり、前月に比べると、鉄鋼や金属製品、化学、食料品などは上昇したため、原指数、季節調整済指数ともに5か月連続のプラスとなっている。

需要面では、家計の消費支出は消費税増税直前の駆け込み購入が食料品をはじめさまざまな品目にみられ、大型店売上高はほとんどの品目で前年を大きく上回ったため、全店ベースでは5か月連続、既存店ベースでも2か月連続のそれぞれ大幅のプラスとなった。また、乗用車新車登録台数は上記の駆け込み購入が続き、7か月連続の大幅プラス、軽乗用車も8か月連続かつ大幅のプラスとなっている。さらに、民間非居住用建築着工床面積のみ民間設備投資は3業用計で2か月連続の大幅プラス、トラックの新車登録台数も6か月連続のプラス、公共工事の請負金額も3か月連続の大幅プラスとなっている。一方、新設住宅着工戸数は上記の駆け込みによる着工がなくなってきたため、持家は3か

月連続、貸家と分譲住宅は2か月連続のそれぞれマイナスとなり、全体では2か月連続で前年を大きく下回っている。このような状況下、雇用情勢をみると、新規求人倍率は2か月ぶりに上昇し、常用雇用指数は4か月連続のプラスとなるなど、引き続き改善傾向がみられる。

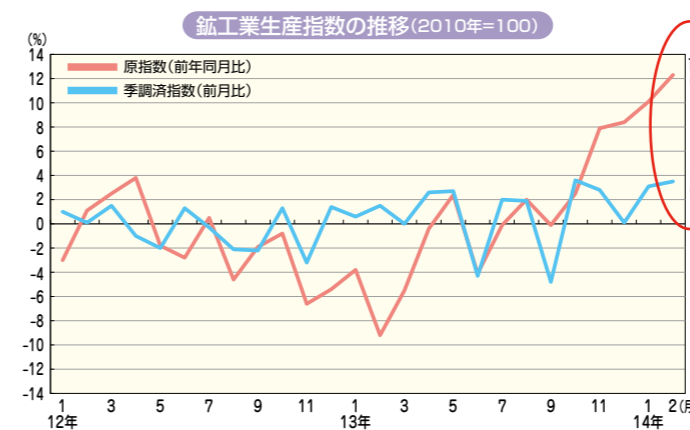
今後の動向 生産活動面は再び回復に向かい堅調に推移すると考えられるが、需要面では増税後の反動減などから弱含みの動きとなり、全体的に不透明感のある、せい弱な動きにとどまるものと思われる。

詳しくみると、県内製造業の生産活動は、米国景気は堅調が持続するものの、中国をはじめとする新興国景気の減速懸念による減産などから、海外需要向けは伸び悩むものと考えられるが、国内需要向けは消費税増税後の反動減に伴う生産調整が一時的なものにとどまるとみられるため、全体的には再び回復に向かうと思われる。

需要面では、消費税増税後の個人消費については、家計収入の動向が注目されるなかで、物価や光熱費の上昇、消費税増税といったマイナス要因から節約志向は根強く、全体に伸び悩むものとみられる。また、民間設備や新設住宅着工などの投資関連需要については、建築価格の高騰懸念からの前倒し発注や着工の動きはみられるものの、上記の駆け込み需要の反動減により、力強さはなく盛り上がりには欠けた状態が続くものと考えられる。

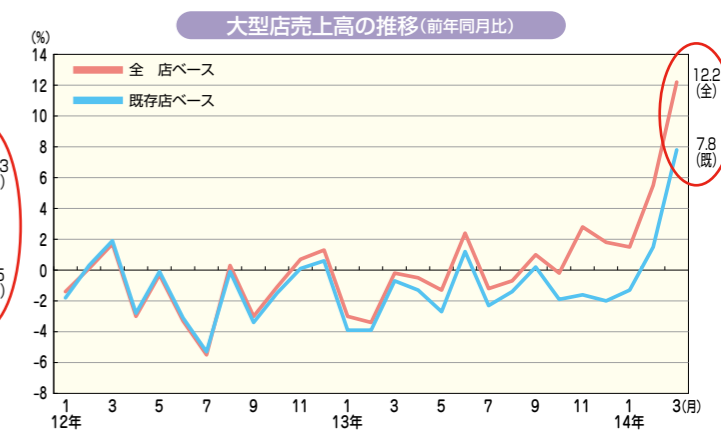
「鉱工業生産指数」は、原指数、季節調整済指数ともに5か月連続のプラス

2014年2月の県内製造業の生産状況は、鉱工業生産指数(2010年=100)の「原指数」が104.3、前年同月比+12.3%、「季節調整済指数」も111.4、前月比+3.5%で、ともに5か月連続のプラスとなっている。また、鉱工業全体の季節調整済指数の3か月移動平均値(1月)は107.8、前月比+2.3%で、5か月連続のプラスとなっている。業種別(中分類)に季節調整済指数の水準をみると、引き続き「窯業・土石」などは低いものの、「金属製品」や「電気機械」「輸送機械」「化学」「その他」などは高水準となっている。また、前月に比べると、「はん用・生産用・業務用機械」と「繊維」は低下したが、「鉄鋼」や「金属製品」「化学」「食料品」などは上昇した。



電機器(同+40.8%)、「家庭用品」(同+27.0%)が大幅のプラスとなり、全体では2か月連続かつ大幅のプラスとなった(同+7.8%)。

3月の「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」は、「普通乗用車(3ナンバー車)」が8か月連続かつ大幅のプラス(2,973台、前年同月比+33.1%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」も再びニケタ増加となったため(2,647台、同+15.4%)、2車種合計では7か月連続の大幅プラスとなり、好調に推移している(5,620台、同+24.2%)。消費税増税前の駆け込み購入が増税実施直前まで続いているためとみられる。また、「軽乗用車」も8か月連続かつ大幅のプラスとなっている(4,117台、同+39.3%)。これも消費税増税前の駆け込み購入によるもの。



「大型店売上高」は、大幅のプラス

3月の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合/大津市/2010年=100)」は100.1、前年同月比+1.4%、前月比+0.2%となり、前年比では11か月連続かつ大幅のプラスとなり、前月比でも2か月連続のプラスとなった。これは、エネルギー(電気代、ガス、灯油、ガソリン)が前年比で大幅上昇となり、前月比でもプラスとなっている(前年同月比+8.9%、前月比+0.6%)ことに加え、シャツ・セーター類や保健医療用品・器具、教養娯楽用品、同サービスなどが大幅に上昇したためとみられる。「可処分所得(同)」は6か月連続かつ大幅のプラスとなり(前年同月比+37.4%)、「家計消費支出(同)」は2か月連続の大幅プラスとなっている(同+22.8%)。

このような所得・消費環境のなか、3月の「大型店売上高(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は100店舗、前年は92店舗)」は前年同月比+12.2%となり、5か月連続かつニケタの大幅増加となった。品目別でみると、ウエイトの高い「飲食料品」が10か月連続で増加(同+9.0%)しているのに加え、「家具」(同+30.8%)、「家電機器」(同+47.5%)、「家庭用品」(同+27.5%)が大幅のプラス、「衣料品」と「身の回り品」(ともに同+5.7%)も2か月連続のプラスとなった。さらに、「既存店ベース(=店舗調整後)」の売上高はほとんどの品目でプラスとなり、なかでも、「家具」(同+26.5%)、「家

「新設住宅着工戸数」は、前月に続きマイナス

3月の「新設住宅着工戸数」は前月と同じ670戸、前年同月比-22.2%で、前月に続きマイナスとなった。消費税増税前の駆け込み着工がなくなってきたためとみられる。利用関係別でみると、「持家」は295戸、同-19.6%(大津市46戸など)となり、3か月連続のマイナス、「貸家」は227戸、同-23.3%(近江八幡市93戸、栗東市56戸など)で2か月連続、「分譲住宅」も148戸、同-25.3%(大津市67戸、草津市41戸など)で、ともに2か月連続の大幅マイナスとなった。内訳をみると、「分譲マンション」は前年を若干上回ったものの(68戸、前年差+3戸)、「一戸建て」は前月に続き大幅マイナスとなった(80戸、同-53戸)。なお、給与住宅は前月に続き0戸。

